

# 町長所信表明

独居老人や高齢者世帯の増加が現実となってきましたので、安心して暮らしていただけるよう地域の方にも協力を願って、地域で地域を支えるネットワークづくり”をしていかなければならないと思います。また、生きがいをもつて人生を楽しく過ごしていただくための「居場所づくり」も進めていきます。

健康管理は、子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌などのワクチン接種の助成を実施していきます。

## 子育て支援と教育のまちづくり

子育て支援は、これまでも「子ども総合支援センター」を開所するなど阿久比町の「宝」である子ども育成に力を入れてきました。今期は「新保育園の建設」が大きな事業となります。スケールの大きさだけでなく、保育サービスの充実を図り、保護者のニーズに応えていきます。また、中学三年生までの医療費無料化を平成二十二年から始めました。継続して無料化を実施します。

教育では、校舎の耐震化工事はすべての学校で終わりましたので、授業環境整備としてエアコンの設置を進めていきたいと思います。幼保小中一貫教育は、「生きる力」を育てるとともに「学力の向上」にも力を注ぐよう教育委員会へお願いしていきます。

安心して子どもを産み育てていけるようにサポートしていく体制を進

め、人を思いやることのできる子どもたちを育てていきたいと思います。

**安全で安心して快適に暮らせるまちづくり**

高齢者の交通手段の助成事業として、七十歳以上の方にはタクシール金助成を実施してきましたが、アンケート調査で「循環バスを走らせてほしい」との要望が多くありましたので、早い時期に循環バスの試行運転に踏み切りたいと思います。特急の停車する名鉄阿久比駅を基点に、「鉄道」「バス」「タクシー」による公共交通の充実に努めていきます。

新庁舎建設は、防災の拠点となる機能を備えた建物と町民が利用できる文化ホールを併設した複合型庁舎の建設に取り掛かりたいと思います。

住民サービスの向上を図るため、休日に住民票などの交付を行えるよう整備していきます。

## 自然と共生できるまちづくり

私たちのまちの自慢は、大都市名古屋から三十分圏内にありながら青い空と緑豊かな住環境を持つていることです。次世代に渡していかなくてはならない「大切な自然」と「水と緑と土」を守ります。また、自然と触れ合う環境の整備にも努めていきます。

## 活力のある発展するまちづくり

今ある自然を守りながら、土地改良

良事業を推進し、企業用地を確保し、たうで誘致を進め、雇用の機会を増やし、自主財源の確保にも努めていきます。

人口増加につながる住宅開発も継続して行えるようインフラ整備を充実し、安定的な飲料水を確保するため「上水道第三供給地の建設」を行います。

## 住民と行政の協働のまちづくり

住民税のパーセント分の使い道を町民が決める「町民予算枠」を設け、協働によるまちづくりを目指します。また、町民にも参加していただく「事業仕分け」を行い、事務事業の見直しを進めていきます。

以上基本的な施策の一端を申し述べさせていただきました。具体的な施策の実施につきましては、毎年度の予算編成時に適切に計上させていただきます。と考えています。

阿久比町を取り巻く状況は近年大きく変化しています。国と地方の行政の在り方が変わろうとしています。国は組織や事業、さらには規制や予算の編成の在り方をも見直してきています。地域主権時代の到来です。

町民の方とは、行政と住民が一緒になって進める協働のまちづくりの時代に入りました。町民の方も環境

保全、防災、防犯など「安全・安心」への意識が高まり、自分たちで行動を起こされています。少子高齢化の

進行は止めることはできませんが、本町は新しい住民を受け入れ、人口増加に転じています。このような状況下で、住民のニーズの多様化と変化に対応すべく、町民の皆さんの理解と協力の中で、「第五次総合計画」に示されたまちづくりに取り組んでまいり所存です。

私たちのまち「阿久比町」は、近隣市町と連携を取りながら広域行政の一員として協力し合うとともに、「町」の特色を生かしたまちづくりをする事によって、町の発展と町民福祉の向上が図れるものと考えています。

最後になりましたが、我が国は災害の多い国です。阿久比町も例外ではありません。いつ来るかわからない大地震や集中豪雨などに備えて、町民の生命と財産を守ることは行政の大きな使命であり役割であります。皆さまの生活を守るためにも、「安全で安心して暮らせる安定したまちづくり」を基本に、「自然と調和した快適生活空間阿久比」を目指して邁進してまいります。

議員各位ならびに町民の皆さまに、今後一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。三期目の就任にあたりましての所信表明とさせていただきます。